TRC MARC

ニュース

第31号

HEADLINE >>>>

- I 「日本十進分類法 新訂10版」(NDC10版)の提供
- II 累積データへの対応：NDC10版参照テーブルおよびNDC10版典拠更新データ
- III NDC8版の提供終了予定について
- IV TRC MARC/Uタイプの提供終了予定について
- V NDC10版アンケートへのご協力をお願い
- VI NDC10版についてのTRCの質問と分類委員会による回答

目次

I	「日本十進分類法 新訂 10 版」(NDC10 版) の提供	2
	1. 各種データにおける NDC10 版への対応	2
	2. 提供開始スケジュール	3
II	累積データへの対応：NDC10 版参照テーブルおよび NDC10 版典拠更新データ	4
	1. 提供方式	4
	2. 提供データ種別	5
	3. データ仕様	5
	4. 収録対象	6
III	NDC8 版の提供終了予定について	7
IV	TRC MARC/U タイプの提供終了予定について	7
V	NDC10 版アンケートへのご協力をお願い	8
VI	NDC10 版についての TRC の質問と分類委員会による回答	11

I 「日本十進分類法 新訂 10 版」(NDC10 版) の提供

TRC MARC における「日本十進分類法 新訂 10 版」(以下 NDC10 版)のご提供について、詳細が決まりましたのでご案内いたします。

NDC10 版のご提供開始は、2017 年 4 月を予定しております。
各種データにおける具体的対応は下記をご参照ください。

1. 各種データにおける NDC10 版への対応

■ TRC MARC/T タイプ・・・NDC10 版・NDC9 版・NDC8 版を併記

タグ	\$	R	サブフィールド名	和書	映像	洋書	雑誌	
677	A	○	NDC8 版	○	○	○	×	
	C	○	NDC9 版	○	○	○	○	
	D	○	NDC10 版	○	○	○	○	新設
	E	×	絵本の主題分類 (NDC8 版)	○	×	×	×	
	F	×	絵本の主題分類 (NDC9 版)	○	×	×	×	
	G	×	絵本の主題分類 (NDC10 版)	○	×	×	×	新設
678	A	○	シリーズの NDC8 版 [予定]	○	×	×	×	
	C	○	シリーズの NDC9 版 [予定]	○	×	×	×	
	D	○	シリーズの NDC10 版 [予定]	○	×	×	×	新設
	E	×	シリーズの絵本の主題分類 (NDC8 版) [予定]	○	×	×	×	
	F	×	シリーズの絵本の主題分類 (NDC9 版) [予定]	○	×	×	×	
	G	×	シリーズの絵本の主題分類 (NDC10 版) [予定]	○	×	×	×	新設
679	A	○	多巻ものの各巻の NDC8 版	○	×	×	×	
	C	○	多巻ものの各巻の NDC9 版	○	×	×	×	
	D	○	多巻ものの各巻の NDC10 版	○	×	×	×	新設
	E	×	多巻ものの各巻の絵本の主題分類 (NDC8 版)	○	×	×	×	
	F	×	多巻ものの各巻の絵本の主題分類 (NDC9 版)	○	×	×	×	
	G	×	多巻ものの各巻の絵本の主題分類 (NDC10 版)	○	×	×	×	新設

注) R: リピータブルは SEQ2 まで存在します

注) 電子資料は、資料内容によりそれぞれ和書・映像・洋書に準じます

■ 典拠ファイル T・・・NDC10 版・NDC9 版・NDC8 版を併記

典拠ファイルの種類	項目名	タグ	\$	R	収録形式
件名典拠ファイル T	参照分類 (TRC)	687	C	○	NDC10 版< NDC9 版> (NDC8 版)
全集典拠ファイル T	全集の分類記号	236	M	○	

但し、10 版= 9 版= 8 版の場合は、NDC10 版のみ収録

注) 現在の収録形式は、NDC9 版< NDC8 版>

典拠ファイルでは、タグの新設はありません。従来からご提供しているタグの収録形式およびデータ内容の更新となります。

2017 年 4 月からは、各図書館が採用する NDC の版に関わらず、典拠ファイルは一律 NDC10 版に対応したデータとなります。システムメーカーに確認したところ、典拠ファイル上の分類記号は検索等には使用しておらずシステム上の問題はないとのこと。従って、各図書館で NDC9 版・NDC8 版を採用されている場合も、これまで通りご利用いただけます。

■ 発注管理データ・・・NDC10版・NDC9版・NDC8版

- ・各図書館で採用されているNDCの版をご提供

■ 新発注管理データ・・・NDC10版・NDC9版を併記／NDC9版・NDC8版を併記

A：「NDC10・9版」版

項目名
TRC MARC No.
：
分類9版
分類10版
：

B：「NDC9・8版」版

項目名
TRC MARC No.
：
分類9版
分類8版
：

- ・各図書館で採用されているNDCの版に従ってA/Bどちらかをご提供

■ TOOLi

- ・検索画面での検索対象・・・NDC10版・NDC9版・NDC8版
- ・書誌詳細画面の表示・・・NDC10版・NDC9版・NDC8版を併記
- ・検索結果一覧表示・・・NDC10版のみ

■ 『週刊新刊全点案内』・・・NDC10版・NDC9版・NDC8版を併記

■ 付録『ご注文書』・・・NDC10版・NDC9版を併記

MARC上のNDC分類			『週刊新刊全点案内』	付録『ご注文書』
10版	9版	8版		
913.6	913.6	913.6	913.6	913.6
007.6388	582.33	336.57	007.6388 < 582.33 > (336.57)	007.6388 < 582.33 >
319.530273	319.530273	319.530281	319.5302	319.5302

注) 10版=9版=8版の場合は、NDC10版のみ表示

注) 紙幅の関係上、ピリオド以下4桁(第7次区分)までを表示。5桁目以降は省略

■ TRC MARC/Uタイプ・・・NDC10版非対応(NDC9版・NDC8版を併記)

- ・詳細はp7をご確認ください。

※ NDC8版のご提供は、2020年12月末までを予定しております。2021年1月以降は、NDC10版・NDC9版のご提供となる予定です。詳細はp7をご確認ください。

2. 提供開始スケジュール

各種データ	提供開始予定
発注管理データ	2017年3月31日(金)～
新発注管理データ	2017年3月31日(金)～
デイリーMARC	2017年4月1日(土)～
ウイークリーMARC	2017年4月1日(土)～
雑誌データ(親書誌)	2017年4月1日(土)～
TOOLi	2017年4月1日(土)～
抽出MARC	2017年4月3日(月)～
『週刊新刊全点案内』	2017年4月4日(火)発行～
NDC10版参照テーブル ^{注)}	2017年4月8日(土)～

注) 次ページ参照

Ⅱ 累積データへの対応：NDC10 版参照テーブルおよび NDC10 版典拠更新データ

2017 年 4 月より、NDC10 版参照テーブルおよび NDC10 版典拠更新データをご提供いたします。

■ NDC10 版参照テーブル

TRC MARC No. と、その MARC の NDC10 版データをセットでご提供するものです。

所蔵データ（書誌部）への NDC10 版の取り込みにご利用ください。

このテーブルを利用して、各図書館で現在の請求記号との差異をチェックしていただくことも可能です。

■ NDC10 版典拠更新データ

典拠 ID と、その典拠ファイルの分類記号データをセットでご提供するものです。

件名典拠ファイル T と全集典拠ファイル T の分類記号の更新にご利用ください。

この更新データは、典拠ファイル A タイプ（デイリーまたはウイークリー）を対象とします。

典拠ファイル B タイプ（年 2 回）は毎回全データをご提供しておりますので、更新データの取り込みは不要です。

「NDC10 版参照テーブル」「NDC10 版典拠更新データ」は累積データ全件を対象といたします。大変件数が多くなりますので、通常の更新データとは別にご提供いたします。

データ内容は、「NDC10 版参照テーブル」が TRC MARC No. と NDC10 版、「NDC10 版典拠更新データ」は典拠 ID と分類記号のみとなります。通常の更新データに存在する更新レベル・更新日付は存在しません。

「NDC10 版参照テーブル」「NDC10 版典拠更新データ」は、保守契約の有無にかかわらず、どの図書館でもご利用いただけます。

実際の取り込みにつきましては各システムメーカーでの対応となりますので、ご利用のシステムメーカーにご相談ください。

1. 提供方式

- ・ TOOLi「お知らせ」内に、ダウンロード用の特設ページを設けてご提供
- ・ 毎月第一土曜日に、前月最終金曜日までの累積データ全件分の NDC10 版参照テーブルと NDC10 版典拠更新データを掲載
例) 2017 年 6 月は、2017 年 5 月 26 日（金）までの全件データを 6 月 3 日（土）に掲載
- ・ 提供期間は、2017 年 4 月から 2018 年 3 月までを予定

※ 媒体での納品を必要とされる場合、もしくは 2018 年 4 月以降に NDC10 版の取り込みをされる場合は、弊社お客さま係までご相談ください。

☎お客さま係フリーダイヤル：0120-118-491

2. 提供データ種別

■ NDC10 版参照テーブル

提供データ種別	ファイル名*	件数
和書 MARC	ndc10_marcw_yyyymm.txt	約 360 万件
洋書 MARC	ndc10_marcy_yyyymm.txt	約 5,000 件
映像 MARC	ndc10_marce_yyyymm.txt	約 11 万件
雑誌 MARC	ndc10_marcz_yyyymm.txt	約 5,000 件
電子資料 MARC	ndc10_marcd_yyyymm.txt	約 2 万件

※ファイル名の例：ndc10_marcw_201704.txt

注) ファイルサイズは、最大の和書 MARC で約 75MB となり、TOOLi の SLCA 圧縮では 15.1MB です。
(2016 年 4 月現在)

※ 参照テーブルの中には、現物確認ができていないために暫定措置として NDC10 版に NDC9 版の分類をそのままセットするものがありますが、ご了承ください。

■ NDC10 版典拠更新データ

提供データ種別	ファイル名	件数
件名典拠ファイル T	ndc10_tenkyos_yyyymm.txt	約 9 万件
全集典拠ファイル T	ndc10_tenkyoz_yyyymm.txt	約 30 万件

3. データ仕様

- ・ CSV 形式 (改行コード：CRLF)
- ・ レイアウトは以下のとおり

■ NDC10 版参照テーブル

項番	タグ \$SEQ	サブフィールド名
1	080A01	TRC MARC No.
2	677D01	NDC10 版
3	677D02	NDC10 版 (重出)
4	677G01	絵本の主題分類 (NDC10 版)
5	679D01	多巻ものの各巻の NDC10 版
6	679D02	多巻ものの各巻の NDC10 版 (重出)
7	679G01	多巻ものの各巻の絵本の主題分類 (NDC10 版)

例) 16010110,460.87,,486.1.,

例) 16000806,E,,481.78,,

注) TRC MARC No. のデータ長
和書・洋書・映像 MARC：8 バイト
雑誌 MARC：10 バイト
電子資料 MARC：12 バイト

■ NDC10 版典拠更新データ

<件名典拠ファイル T>

項番	タグ \$SEQ	サブフィールド名
1	001A01	典拠 ID
2	687C01	参照分類 (TRC)
3	687C02	
4	687C03	
5	687C04	
6	687C05	

例) 510001400000000,479.716 <479.716> (479.71),657.85,,

注) 典拠 ID のデータ長: 15 バイト

<全集典拠ファイル T>

項番	タグ \$SEQ	サブフィールド名
1	001A01	典拠 ID
2	236M01	全集の分類記号
3	236M02	

例) 714335300000000,291.093 <291.093> (291.09),689.81 <689.81> (689.8)

4. 収録対象

■ NDC10 版参照テーブル

提供データ種別	条件: 001A (MARC 種別)		
和書 MARC	A : 新刊流通図書掲載	B : 新刊流通図書非掲載	
	C : 新刊見本もれ・コミック	D : 旧新刊流通図書	
	E : 図書館蔵書 (東京遡及) 4 年以内	F : 図書館蔵書 (東京遡及) 5 年以前	
	G : 図書館蔵書 (大阪遡及) 4 年以内	H : 図書館蔵書 (大阪遡及) 5 年以前	
	I : 旧既刊書		
洋書 MARC	P : 洋書		
映像 MARC	R : AV 映像掲載	S : AV 映像非掲載	T : AV 旧映像
雑誌 MARC	K : 新刊流通雑誌		
電子資料 MARC	X : 電子和書	N : 電子映像	O : 電子洋書

■ NDC10 版典拠更新データ

提供データ種別	条件
件名典拠ファイル T	001A (典拠 ID) 先頭 2 桁が "51" "52" "53" で 687C が存在する
全集典拠ファイル T	001A (典拠 ID) 先頭 1 桁が "7" で 236M が存在する

Ⅲ NDC8 版の提供終了予定について

『週刊新刊全点案内 第1939号』（2015年11月17日発行）同封文書でもご案内いたしました。NDC8版はNDC10版への移行期間として2020年12月末日までご提供を継続いたします。2021年1月以降は、すべてのデータタイプでNDC8版のご提供を終了させていただく予定です。

なお、NDC8版のご提供終了後も、文学作品論についてはNDC8版に倣った形での請求記号の付与ができるよう準備しております。

現在NDC9版をご採用で、文学作品論のみNDC8版を適用されている図書館では、2021年以降も請求記号を変更することなくお届けすることが可能です。また、NDC10版を採用された場合にも、文学作品論はNDC8版に倣った請求記号でお届けすることが可能です。詳細は『TRC MARC ニュース 第30号』のp7をご覧ください。（『TRC MARC ニュース』は、TOOLiのお知らせ画面でご覧いただけます。）

何卒ご理解とご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

Ⅳ TRC MARC/U タイプの提供終了予定について

「TRC MARC/U タイプ」は、運用開始から20年以上経過した古いシステムで作成しているため、現在では項目（タグ）の新設ができずNDC10版のご提供ができません。また、「TRC MARC/T タイプ」の発売から10年が経ち「TRC MARC/U タイプ」ご利用館も少なくなりました。

そこで、「TRC MARC/U タイプ」のご提供は2020年12月末日までとし、2021年1月以降は「TRC MARC/U タイプ」のご提供を終了させていただく予定です。

「TRC MARC/U タイプ」をご利用の図書館におかれましては、システム更新のタイミング等に合わせて「TRC MARC/T タイプ」への移行をご検討くださいますようお願いいたします。

何卒ご理解とご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

提供期間	MARCタイプと NDCの版	Tタイプ			Uタイプ		
		NDC10版	NDC9版	NDC8版	NDC10版	NDC9版	NDC8版
2017年3月まで		×	○	○	×	○	○
2017年4月～2020年12月		○	○	○	×	○	○
2021年1月以降		○	○	×	(提供終了予定)		

V NDC10 版アンケートへのご協力のお願い

各図書館での NDC10 版採用の検討状況と、NDC10 版の適用についての下記アンケートにご協力いただきますようどうぞよろしくお願いたします。
ご多用中恐縮ではございますが、回答は、同封の回答用紙にご記入の上、6月10日(金)までに FAX での送信をお願いいたします。

<NDC10版採用の検討状況について>

【問1】 現在ご採用のNDCの版を教えてください。

- NDC9版 NDC8版 その他()

【問2】 NDC10版の採用を予定されていますか。

- 予定している(採用開始予定時期:) 予定していない
 現在検討中 今後検討予定

【問3】 問2で「予定していない」と回答された図書館にお聞きします。差支えなければ、NDC10版を採用されない理由を教えてください。

【問4】 NDC10版を採用した場合、蔵書の背ラベルの貼り替えもされますか。

- 該当箇所はすべて貼り替え予定
 部分的な貼り替えのみを行う予定
 貼り替えは行わず、掲示等に対応

上記を選択した理由を教えてください。

<NDC10版の適用について>

TRC MARC で NDC10 版(以下 10 版)を適用するにあたり、図書館への影響が大きいと思われる項目及び別法等の採用について、下記アンケートにご協力ください。

【問5】 147.9 その他の超常現象

10 版で上記の項目が新設され、「*未確認飛行物体 [UFO] は、440.9 に収める(別法:ここに収める)」と注記されています。

10 版の試案説明会資料^(注)によりますと「UFO は天文学とは無関係であるとの指摘が天文学関係団体から出されたことから、別法を設けた」とのことです。

未確認飛行物体 [UFO] について、10 版では別法を採用して 147.9 に収めたいと考えておりますがいかがでしょうか? 以下の A~D 案の中からお選びください。

(注)『日本十進分類法新訂 10 版 試案説明会資料』 日本図書館協会, 2013.11, 92p

(参考例)

タイトル	10 版 A 案	10 版 B 案	参考 9 版	参考 8 版
UFO・宇宙人大図鑑	440.9	147.9	440.9	538.9

- A 案 10 版の本表どおり 440.9
 B 案 10 版では別法を採用して 147.9
 C 案 どちらでもよい
 D 案 その他()

上記を選択した理由を教えてください。

【問 6】 210.025 考古学

10 版で「特定の地域全般に関するものおよび個々の遺跡・遺物に関するものは、211/219 に収める；ただし個々の遺跡・遺物に関するものでも一国の歴史に関係ある遺跡・遺物は、日本史の特定の時代に収める」と注記が変更されました。

TRC MARC ではこれまでの各版の注記に従い、8 版では 210.2 に集中し、9 版では個々の遺跡・遺物は日本史の特定の時代に収め、時代が判明していない個々の遺跡・遺物は各地域の歴史に収めていましたので、大きな影響があると考え分類委員会に問い合わせた結果が下記となります。

Q) 「個々の遺跡・遺物に関するものは、211/219 に収める；ただし、個々の遺跡・遺物に関するものでも一国の歴史に関係ある遺跡・遺物は、日本史の特定の時代に収める」と注記が変更されました。9 版では、「個々の遺跡・遺物に関するものは、日本史の特定の時代に収める」という注記により、個々の遺跡・遺物は日本史の特定の時代に収め、時代が判明していない個々の遺跡・遺物は地域史に収めてきました。

試案説明会資料によりますと「地域は時代に優先するという原則に従って変更した」とのことですが、この影響は大きなものであることと、8 版では 210.2 に集中させており、それが 9 版・10 版と版が変わるごとに取り扱いが変更になっています。NDC の版が変わるごとに適用が変わる種類のものでもないと思えますが、いかがでしょうか？

- A) ご指摘の通り、個々の遺跡・遺物については、各版で異なった位置づけがなされてきました。
- ・8 版では 210.2 (原始時代) の中に考古学関連資料全般が分類されることとなり、異なる時代の遺跡が混配される問題が生じていました。
 - ・9 版では、210.025 に日本考古学<一般>を位置づけることとしましたが、「個々の遺跡・遺物に関するもの」は時代が優先される一方、特定地域全般の遺跡・遺物は地域が優先されることとしたため、区分特性が一貫しない問題が残りました。
 - ・10 版ではこの問題を解消するため、各地域・時代の遺跡・遺物であれば、区分の優先順序を①地域別区分、②時代別区分としました。ただし、遺跡によっては 210.2/7 に分類する方がふさわしい場合も考えられることから、例外的に 210.2/7 に分類することも許容することとしました。

以上のように区分特性を明確化したために、版ごとに置き場所が異なる結果となってしまいました。今後は、大規模改訂を行わない限り、区分特性が更に変更される可能性は低いと考えられます。ご理解のほどをお願いします。

10 版の適用に当たっては以下のどの案がよいでしょうか。以下の A～D 案の中からお選びください。

(参考例)

タイトル	10 版 A 案	10 版 B 案	参考 9 版	参考 8 版
三内丸山遺跡の復元	212.1	210.25	210.25	210.2
高松塚古墳の研究	216.5	210.34	210.34	210.2
平安京跡発掘資料選 ^{注)}	210.36	210.36	210.36	210.2

注) 一国の歴史に関係すると考えられるので日本史の特定の時代へ

- A 案 10 版の本表どおり個々の遺跡・遺物は各地域の歴史
- B 案 10 版でも 9 版を踏襲して時代史
- C 案 どちらでもよい
- D 案 その他 ()

上記を選択した理由を教えてください。

【問7】 290.38 地図

10版で「*道路地図[ロードマップ]は、685.78に収める(別法:29△038)」という注記が追加されました。

9版で「685.78 道路地図[ロードマップ]」が新設されていたのですが、TRC MARCでは、9版採用時のアンケート結果と9版分類委員会のご意見等を勘案した結果、8版を踏襲して別法である29△038に収めてきました。

10版の適用にあたっては別法とはなりますが、9版・8版を踏襲し29△038としたいと考えておりますが、いかがでしょうか?以下のA~D案の中からお選びください。

(参考例)

タイトル	10版A案	10版B案	参考9版	参考8版
北海道道路地図	685.78	291.1	291.1	291.1
東京都道路地図	685.78	291.36	291.36	291.36

- A案 10版の本表どおり685.78
- B案 10版でも9版を踏襲して29△038
- C案 どちらでもよい
- D案 その他()

上記を選択した理由を教えてください。

【問8】 596 食品. 料理

10版で「*様式と材料の両方にまたがる場合は、様式を優先して分類する」という注記が追加されました。

TRC MARCでは、9版・8版とも「様式と材料の両方にまたがる場合は、材料を優先」してきました。10版の注記と異なる適用とはなりますが、9版・8版と同じ適用を10版でも踏襲したいと考えておりますが、いかがでしょうか?以下のA~D案の中からお選びください。

(参考例)

タイトル	10版A案	10版B案	参考9版	参考8版
和食の魚料理のおいしさを探る	596.21	596.35	596.35	596.3
イタリア魚介料理	596.23	596.35	596.35	596.3
使える魚介レシピ - スーパーで買える魚介で作れる。和・洋・中106品。 -	596.35	596.35	596.35	596.3

- A案 10版の注記どおり様式を優先
- B案 10版でも9版を踏襲して材料を優先
- C案 どちらでもよい
- D案 その他()

上記を選択した理由を教えてください。

【問9】 TRC MARC の分類に対する疑問・ご意見・ご要望をお聞かせください。

VI NDC10 版についての TRC の質問と分類委員会による回答

NDC10 版と NDC9 版・NDC8 版の対照表を作成する過程で、NDC10 版に対する疑問点があがりましてので、日本図書館協会分類委員会に質問させていただきました。ここに、その質問と回答を掲載いたします。

なお、実際の適用につきましては現在検討中です。改めて適用方針をまとめたものを 2017 年夏に刊行する予定です。

凡例

Q) TRC からの質問

A) 日本図書館協会分類委員会による回答 (2015 年 12 月末現在)

※文中に出現する「試案説明会資料」は、2013 年 11 月に日本図書館協会から刊行された「日本十進分類法新訂 10 版 試案説明会資料」を指す。

007 情報学. 情報科学

Q) “*情報通信産業および経営・事業に関するものは、ここに収める (別法: 経営・事業に関するものは 694 の下に収める); 情報を処理する機器類 [ハードウェア] や工学的な取扱いに関するものは、547 および 548 に収める (別法: 機器類や工学的な取扱いも、ここに収める); 観点が明確でないものは、ここに収める”

上記 007 の注記は、007 全体に対する注記で固有の分類記号をもつものはそこに収めるという趣旨かと推測しましたが、その理解でよろしいのでしょうか? 具体的には、情報通信産業は、007 ではなく 007.35 情報産業・情報サービスに収めるという理解でよろしいのでしょうか? また関連する産業をまとめると以下の理解でよろしいのでしょうか?

007.35 情報通信産業および経営・事業に関するものはここに収め、コンピュータ機器産業は 548.2 の下に、電気通信産業は 694 の下に収める; 情報・通信・機器全体を扱う産業・事業はここに収める 例: アップル社 007.35, フェイスブック社 007.353, ニフティ 547.4833, NTTドコモ 694.067

A) ご理解のとおり、分類項目に対する「*…は、ここに収める」という注記 (包含注記) は、注記が付された分類項目の下位にまで及び、下位にその主題に対応する特定の分類項目があれば、そちらに収めます。

007.35 のご理解もそのとおりですが、インターネット接続サービス等のプロバイダ事業は基本的に 007.35 に収める考え方です。

Q) なお、547, 548, 694 の注記ですが、表記のされ方が少しずつ異なり少し把握しづらいのですが修正はされないのでしょうか? “観点が明確でないもの” という注記は各分類概説におき、ここでは→: のみのほうがわかりやすかったかとも思います。

547 “*ここには、工学的な取扱いに関するものを収め、情報ネットワークは 007.3 の下に、電気通信産業は 694 の下に収める; 観点が明確でないものは 007.3 の下に収める”

548 “*ここには、工学的な取扱いに関するものを収め、情報科学およびシステムに関するものは 007 の下に、電気通信産業に関するものは、694 の下に収める; 一般論・全体的なものや観点が明確でないものは 007.3 の下に収める (別法: 情報科学およびシステムに関するものは 548.1 および 548.9 の下に収める)”

694 “*ここには、電気通信産業（各種事業者に関するものやその歴史的経緯を含む）に関するものを収め、情報ネットワーク〈一般〉および情報と通信を扱う産業・事業は 007.35 に、工学的な取扱いに関するものは 547 に、機器に関するものは 548 に収める；観点が明確でないものは 007.3 の下に収める（別法：情報通信産業の経営・事業に関するものは、ここに収める）”

- A) 情報関連分野については、10 版で分野間の取扱いを整理し、関連する分類項目にそれぞれ注記を加えることで、相互の関係を示すことを意図しました。
また、「観点が明確でないもの」という注記はこれまでの NDC にはないタイプの注記です。DDC には注記やマニュアルの末尾に“If in doubt, …prefer ***”という定型文があり、それを試行的に導入したものです。もっとわかりやすい表現があれば将来的に見直しますが、現時点における修正は考えていません。

007 情報学. 情報科学

- Q) 画像処理は、007 の下に存在しますが、音声処理が存在しません。相関索引では、音声処理（電子工学）548.2、音声入力装置（コンピュータ）548.213、音声認識（電子工学）548.2 となっています。音声（情報）処理・音声認識・言語情報処理などは、007 の下に位置づけられてもよいのではないのでしょうか？
なお、相関索引にはありませんが、548.253 の注参照に音声合成→501.24, 549.9 があります。
- A) データ処理としての音声処理は、007.6 に位置づけることになります。10 版では 007.6 の下位区分をかなり展開しましたが、展開に至らなかった主題もあり、将来的には 008、009 を用いた展開も視野に入れることを課題として認識しています。

007.3 情報と社会：情報政策，情報倫理

- Q) 注記“*ウェアラブルコンピュータ→548.2” となっていますが、ウェアラブルコンピュータは 548.295 もしくは 548.29 は考えられないのでしょうか？（相関索引も 548.2）
- A) コンピュータ機器として総合的に捉え、基本的な分類項目を注参照先にしましたが、実際にはご指摘のとおり 548.295 に収めたほうが適切な場合がほとんどであろうと考えられます。
- Q) クラウドコンピューティング〈一般〉はここに収めるのですが、これは情報と社会の下位であることから、「クラウドコンピューティングの幻想」とか「クラウドが変える世界」といった図書を収めると理解しました。相関索引では、クラウドコンピューティングは、007.3 のみですが、クラウドの構築技術はどこに収めるのでしょうか？またクラウドの利用法といったハウツー図書はどこに収めるのでしょうか？
- A) ご指摘のとおり、クラウドコンピューティングは、社会的な影響などの幅広い観点で扱う場合が多いので、一般的な扱いのものは 007.3 としています。007 の注記と同様の考え方で、コンピュータネットワークとしての工学的な構築技術は 547.48、サービスの利用法は 007.35 が基本と考えられます。

- Q) 同様にユビキタスコンピューティングの技術の図書はどこに収めるのでしょうか? 「試案説明会資料」によりますと個々の技術は5類に収めるとのことですが、「ユビキタスの基礎技術」「ユビキタスサービスネットワーク技術」といった図書はどこに収めるのでしょうか?
- A) 上記のクラウドコンピューティングと同様で、コンピュータネットワークとしての工学的な構築技術であれば547.48が基本と考えられます。

007.353 ソーシャルメディア：電子掲示板， ブログ， ウィキ， ソーシャルネットワーキングサービス[SNS]

- Q) 上記同様、ソーシャルメディア以下の技術・利用法はどこに収めるのでしょうか? 情報サービスの一環であるということで、すべてここに収めるのでしょうか?
- A) 新設したソーシャルメディアについては、ソフトウェアに関する技術および利用法も007.353に収めることを基本にします。特に指示のない限り、007のもとの特定の主題は、アプリケーションの技法や使い方と切り離さず、特定の主題に集めるほうがわかりやすいとの考え方によります。ただし、ソーシャルメディアについても、工学的な観点のみに絞られている場合は、547.48に収める場合もあると考えられます。

007.37 情報セキュリティ

007.375 不正操作:コンピュータウイルス， ハッキング， クラッキング， マルウェア， スパイウェア

007.609 データ管理：データセキュリティ， データマイニング

- Q) こども上記同様の課題がありますが、007.37、007.375に技術も収めるとすると、使い分けは下記のようになりますでしょうか?

007.37 ここには、ネットワークのセキュリティやセキュリティトラブル及び対処法を収める(ファイヤーウォールはここに収める)

007.375 ここには、コンピュータウイルス、ハッキング、クラッキング、マルウェア、スパイウェアなど特定の不正操作と防御を収める(ウイルスバスターはここに収める)

007.609 ここには、データベースの保全としてのセキュリティを収める(暗号化ソフトはここに収める)

- A) この解釈で問題ありません。ただし、「暗号化ソフト<一般>」は、電子メール等のセキュリティにも用いられるため007.37と考えられます(データベースの保全に限定されていれば、007.609)。

007.637 画像処理：図形処理， 画像認識

- Q) 写真処理のためのソフトウェアは007.637に収め、デジタル写真処理は744に収めるとのことですが、その区別は何によるのでしょうか? Photoshopのように写真を編集して他の目的に使用する場合は007.637で、フォトビューワーのように写真そのものを目的としている場合が744でしょうか?

- A) 007.6 の下位を細分展開した最大の趣旨は、9 版以前では主題のもとに分散していたコンピュータソフト解説書をなるべく集中し、区分することにあります。特定のソフトに関する解説（使用法も含む）は 007.637、デジタル写真の補正技術論などは 744 に収め、従来の写真の処理との乖離を避けるといった使い分けが考えられます。

007.637 画像処理：図形処理，画像認識

007.642 画像描画：コンピュータグラフィックス，アニメーション

- Q) 「試案説明会資料」によると、描画が 007.642、修正や操作を行うものは 007.637 とのことですが、これは、Photoshop は 007.637 で、Illustrator は 007.642 という意味でしょうか？この意味だとすると、007.642 はプログラミングの下位ですので、違和感があります。グラフィックソフトウェア（描画・修正・操作にかかわらず）は 007.637 に収めるという考え方はいかがでしょうか？
- A) 説明会資料のとおり、コンピュータグラフィックの描画自体は 007.642、画像の処理・補正の段階は 007.637 という趣旨であり、007.637 が Photoshop、.642 が Illustrator というのはこの趣旨に合致しています。なお、007.637 と 007.642 は 9 版における新設項目を 10 版でも引き継いだものですが、ソフトウェアの多機能化により、切り分けが難しくなっていることはご指摘のとおりです。いずれは見直しを要するとも考えられますが、当面はどちらの機能を基本にしているかの判断によると考えます。
- Q) また、“図形処理ソフトウェアのプログラミング”とは具体的にはどういうものを指すのでしょうか？
- A) 9 版の注記をそのまま使用した注記であり、図形処理ソフトウェアの開発並びに図形処理ソフトウェアの応用の両者を意図していると解釈します。007.642 はプログラミングの下位にはありますが、他の 007 の下位の項目と同様に、コンピュータを用いて描画を行うためのソフトウェアはここに収めるものと考えます。
- Q) なお、724 には、“コンピュータ絵画の情報处理的技法→ 007.642”とあり、727 には、“芸術的要素をもたないコンピュータ技法に限定されるものは、007.642 に収める”とあります。情報处理的技法とコンピュータ技法はそれぞれ、前者がプログラムを指し後者がソフトウェアの使い方を指すのでしょうか？それとも両者とも同じ意味を指すのでしょうか？CG 絵画は 727、CG 映画は 778、CG アニメーションは 778.77、CG イラストレーションは 726.5 に収めその基礎となる技術を 007.642 というのでしょうか？
- A) 両者とも同じ意味と解釈いただいでけっこうです。ご指摘のとおり、CG 作品は各種の芸術・美術に振り分けられ、コンピュータ技法および情報处理的技法に特化している場合にのみ 007.642 を用います。

014 情報資源の収集・組織化・保存

- Q) 注記“*ウェブアーカイビング, 図書館におけるメタデータ<一般>は,ここに収める”となっていますが、ウェブアーカイビングを 014.7 に収めないのはなぜでしょうか?
- A) 「*…は,ここに収める」という注記(包含注記)は、注記が付された分類項目の下位にまで及んでおり、ウェブアーカイブの各論であれば 014 の下位の分類記号が与えられます。

014 情報資源の収集・組織化・保存

- Q) 注記“図書館におけるメタデータ<一般>は,ここに収める”となっていますが、014.3 に収めないのはなぜでしょうか? MARC はメタデータの一種と考えますが、014.37 に位置づけられています。
- A) 前項と同様です。電子情報資源の目録情報としてのメタデータであれば 014.3 ないし .37 ですが、収集や保存を対象とするなどメタデータの目的も多様であるため、上位の項目に注記を置いています。

027.33 階層別著述目録. 集団別著述目録

- Q) 注記“~ただし、大学の卒業論文目録は、377.2 に収める”ですが、この注記は“~個々の大学の卒業論文目録は、377.28 に収める”とはならないでしょうか?(377.9 *個々の大学の同窓会名簿, 同窓会文集→377.28 と同じ形に)
- A) 9 版の注記のままですが、個々の大学の卒業論文目録はご指摘のとおり 377.28 に収めることとなります。

065 親睦団体. その他の団体

- Q) “県人会などは,ここに収める”が追加されました。相関索引では、361.65 となっていますが、個々の団体は 065 に収め、県人会<一般>は 361.65 に収めるという理解でよろしいでしょうか? なおロータリークラブの相関索引は 065 です。
- A) 県人会は特に明確な主題に属するものではないということで 065 に位置づけました。相関索引も注記に合わせ 065 に訂正します。

159 人生訓. 教訓

- Q) 159 の優先順位ですが、159.6 の注記に 159.4 が含まれていないところから、159.9 > 159.8/.89 > 159.2/4 > 159.5/.79 と理解しましたがこの理解でよろしいでしょうか?
- A) ご理解のとおり、159 は、様式や由来 (159.2/4 および .8/.9)、主題 (159.4)、対象 (159.5/.7) の順序で判断することが基本になるようです。

185.9
188.99

寺誌. 縁起
その他の宗派

- Q) 188.99 にその他の宗派が新設され、185.9 に“各宗共有寺院, 単立寺院は, ここに収める”という注記が追加されました。188.99 を前提とすると、単立寺院は 188.995 に収めるという考え方もあるかと思いますが、いかがでしょうか?
9 版では、188 の注記で“表にないものは 182 仏教史の下に収める”となっていたため、単立で特定の宗派に属さない寺院は 185.9 に収めてきました。
- A) 宗派は宗教団体（文化庁編「宗教年鑑」の用語によれば「包括宗教団体」）にあたり、いずれの宗教団体にも属さない寺院が単立寺院（「単立宗教法人」）にあたります。そのため、単立寺院は 188.99 ではなく 185.9 に収めることで問題ありません。

210.025

考古学

- Q) “個々の遺跡・遺物に関するものは、211/219 に収める；ただし、個々の遺跡・遺物に関するものでも一国の歴史に関係ある遺跡・遺物は、日本史の特定の時代に収める”と注記が変更されました。9 版では、“個々の遺跡・遺物に関するものは日本史の特定の時代に収める”という注記により、個々の遺跡・遺物は日本史の特定の時代に収め、時代が判明していない個々の遺跡・遺物は地域史に収めてきました。
「試案説明会資料」によりますと「地域は時代に優先するという原則に従って変更した」とのことですが、この影響は大きなものであることと、NDC8 版では 210.2 に集中させており、それが 9 版・10 版と版が変わるごとに取り扱いが変更になっています。NDC の版が変わるごとに適用が変わる種類のものでもないと思えますが、いかがでしょうか？
- A) ご指摘の通り、個々の遺跡・遺物については、NDC 各版で異なった位置づけがなされてきました。
・8 版では 210.2（原始時代）の中に考古学関連資料全般が分類されることとなり、異なる時代の遺跡が混配される問題が生じていました。
・9 版では、210.025 に日本考古学〈一般〉を位置づけることとしましたが、「個々の遺跡・遺物に関するもの」は時代が優先される一方、特定地域全般の遺跡・遺物は地域が優先されることとしたため、区分特性が一貫しない問題が残りました。
・10 版ではこの問題を解消するため、各地域・時代の遺跡・遺物であれば、区分の優先順序を①地域別区分、②時代別区分としました。ただし、遺跡によっては 210.2/7 に分類する方がふさわしい場合も考えられることから、例外的に 210.2/7 に分類することも許容することとしました。
以上のように区分特性を明確化したために、版ごとに置き場所が異なる結果となってしまいました。今後は、大規模改訂を行わない限り、区分特性が更に変更される可能性は低いと考えられます。ご理解のほどをお願いします。
- Q) また、“一国の歴史に関係ある遺跡・遺物は、日本史の特定の時代に収める”とは、具体的にはどこまでの範囲を示すのでしょうか？「平城京」や「平安京」は特定の時代で、「三内丸山遺跡」は地域史でしょうか？

- A) “一国の歴史に関係ある遺跡・遺物は、日本史の特定の時代に収める”との注記を設けた経緯は、上記の通りです。何をもって“一国の歴史に関係ある”とみなすかは、図書館によって判断が異なると思われますが、個々の遺跡は所在する地域にまず分類し、次いでその遺跡の存在した年代を固有補助表で細分することがNDC10版の基本的な考え方ですので、“日本史の特定の時代に収める”遺跡は限定的であるべきであるというのが、分類委員会の見解です。
なお、「平城京」や「平安京」は特定の時代で、「三内丸山遺跡」は地域史との考え方は妥当と考えます。

329.34 専門機関

- Q) 9版も同じなのですが、“国際開発協会 [第2世界銀行 IDA] → 338.9”“国際金融公社 [IFC] → 338.9”となっていますが、共に338.98ではないでしょうか？ 関連索引には存在しないようです。
- A) 「国際開発協会」および「国際金融公庫」は、「国際復興開発銀行」とともに「世界銀行グループ」に所属する国際金融機関であり、ご指摘の趣旨はもっともと考えます。しかし、特定の2つの団体を分類項目名としている338.98自体の整理が必要であり、参照先の変更は現時点では保留します。参照どおりの適用でよいと判断します。
- Q) なお、“国際通貨基金 [IMF] → 338.97”ですが、IMFの関連索引が338.98となっています。誤植でしょうか？
- A) 誤植のため3刷で訂正しました。
- Q) 注参照“国際海事機関 [IMO] → 557”“世界気象機関 [WMO] → 451”は、形式区分-06を付加するのでしょうか？ それとも3桁で止めるのでしょうか？ 関連索引では国際海事機関 [IMO] は550.92、世界気象機関 [WMO] は、本表と同じ451です。
- A) 形式区分-06の「概要、事業報告、会員名簿など、個々の団体を扱ったものに、使用する」との指示どおりでよいと考えます。なお、「国際海事機関」および「IMO」の関連索引の分類記号は、2刷で557に訂正しました。
- Q) 注参照“国際民間航空機関 [ICAO] → 687”は、形式区分-06を付加するのでしょうか？ 3桁で止めるのでしょうか？ または687.1でしょうか？ (国際電気通信連合 [ITU]の注参照は、694ではなく694.1になっていますので) なお、関連索引にはありません。
- A) 形式区分-06の扱いについては前項と同様です。「国際民間航空機関」も「国際電気通信連合」については、分類項目名に「条約」が含まれているかどうかで不統一があるようです。機関としての扱いは、基本的には上位項目でよいと考えられますが、変更については現時点では保留します。

333.8 経済協力. 経済援助

- Q) 地理区分の方法が変更になりました。1 国の経済援助は援助を行う国により、2 国間・多数国間では受入国というものです。こうすると例えば、中国が行う援助と中国への援助の区別がつかなくなります。この区別は不要であるということでしょうか？
- A) 9 版では、「1 国の経済援助に関するものは援助を行う国によって、2 国間の援助協力関係に関するものは受入国によって地理区分」としており、10 版では、2 国以上から援助を受ける場合を加えたのみで地理区分の方法が大きく変更されたわけではありません。10 版では「経済援助に関するものは受入国で地理区分」との別法を設けることにしましたが、援助を行う国と受入国の関係の明確化は今後の課題とさせていただきます。

369.44 孤児. 婚外児

- Q) 関連索引で、孤児院が 369.44 になっています。(旧版の関連索引がそのまま継続されているようです。) 10 版では孤児院は 369.43 ではないでしょうか? 過去の変遷は下記のようにになっています。
なお、369.44 を削除項目とし 369.43 に孤児・婚外児を取ってもよいのではないかと思います。
- 369.43 母子寮(6A 版) → 里親制度(7・8 版) → 児童養護施設・児童相談所・里親制度(9・10 版)
- 369.44 孤児院(6A 版) → 児童更生施設・孤児院(7 版) → 孤児・混血児・私生児(8 版) → 孤児・婚外児(9・10 版)
- A) 「孤児院」という用語は歴史的な用語であり、関連索引の分類記号を「孤児」に対応するものではなく、「児童養護施設」に対応させるべきかについては一概には言えません。ご指摘の 369.44 の扱いを含め、今後の課題とさせていただきます。

369.75 司法福祉. 更生保護

- Q) 9 版で新設された項目ですが、326.56 の更生保護とどのように使い分けるのでしょうか? 9 版の分類委員会に問い合わせさせていただいた際には、“使用しない → 326.56 の参照を追加する” との回答をいただいております。
- A) 更生保護は更生保護法に基づく法務の概念ですが、社会福祉の観点から更生保護に対する支援を行う場合もあり、使用しないとの判断は要しないと考えます。ただし、両者の参照関係については考慮する必要があると考えます。

373.1 教育政策. 教育制度. 学校制度

- Q) 9 版からの課題なのですが、373.1 の注記に“各国の教育制度史・事情は、372.1/7 に収める”とありますが、これは各国の教育制度の歴史・事情のみを 372.1/7 に収め、各国の教育政策は 373.1 に収めるという意味でしょうか? それとも“各国・各地域の教育政策・教育制度・学校制度は 372.1/7 に収める”と理解したほうがよいのでしょうか?

- A) 373.1には、教育政策および制度に関する理論的、一般的な著述のみを取めるものと考えます。各国の教育政策は教育制度と分ちがたい場合が多く、372.1/7に取める場合が多いと考えます。
- Q) また関連して、政策が.1に位置づけられている場合、形式区分の02との優先関係が曖昧でもあります。“333 *各国・各地域の経済政策→332.1/7”のように指示がない限りは、各国・各地域の政策は.1の下に取めるという理解でよろしいでしょうか？
- A) ご指摘の点については、各主題による扱いが必ずしも統一されているわけではなく、その整理は今後の検討課題とさせていただきます。ご理解のとおり、特に指示のない限りは、.1の政策を優先することによいとを考えます。

389 民族学・文化人類学

- Q) 9版も同じなのですが、注参照で“形態人類学・体質人類学→469.4”“自然人類学→469”となっています。日本大百科全書(ニッポニカ)によると「自然人類学は、形質人類学、体質人類学ともよばれる。」となっています。自然人類学ではなく人類学→469ではないでしょうか？(なお、関連索引も自然人類学は469です)
- A) 「自然人類学」を「形質人類学」と同義としている辞書は多く、ご指摘はもっともですが、一方で各種の人類学への参照をわかりやすく区別するため、あえて「自然人類学」を参照語として採用するとの考え方も可能と考えます。今後の検討の参考にさせていただきます。

402.9 科学探検・調査

- Q) 9版からの課題なのですが、402.9 科学探検・調査は、“内容が人文・自然両面にわたるものは、地誌に収める”という注記から、(自然)学術探検・調査は462ではなく402.9の下で地理区分と理解してきました。10版で“博物誌、自然誌は、462に収める”という注記が追加されましたが、(自然)学術探検・調査と自然誌が分かれるのも違和感がありますが、どうでしょうか？
- A) 402.9は「科学探検・調査」という項目で、探検・調査の報告等だけでなく自然誌一般を置くかどうかについては従来から解釈の余地がありました。また、自然誌と462の博物誌が内容的に分ちがたいとの問題がありました。10版では402.9の主題を本来の範囲に限定し、462を博物誌、自然誌の本則としました。一方で博物誌、自然誌を402.9に収める別法を設け、双方に対応できるようにしました。

516.231 電車線：架空電車線，第三軌条，電柱

- Q) 516.231の電車線ですが、日本国語大辞典によると「①電気鉄道で、電車や電気機関車に電気を供給するために、空間に架設する電線。直接パンタグラフなどの集電装置と接触するトロリー線と、それを吊っている張架線やハンガー、ドロツパーなどからなる。②電車線路の略」の2種類の意味があるようです。「電車線」の項目名を削除項目名と同じ「電車線路」にさせていただいたほうが、誤解がないかと思いますがどうでしょうか？

- A) 電気鉄道を 516 に統合するにあたり、分類項目の名辞として「電車線」のほうがわかりやすいとの判断でしたが、ご指摘については今後の参考とさせていただきます。

546.2 電車線路. 導軌条路. 帰線

- Q) 削除項目 546.2 電車線路. 導軌条路. 帰線の参照が、516.23 となっていますが、関連索引では各項目はすべて 516.231 となっています。この参照は 516.231 の誤植ではないでしょうか？
- A) 546.2 の電車線路. 導軌条路. 帰線の参照先を訂正します。

547.464 電話機器 547.62 移動無線：航空機局, 車両局, 船舶局 694.6 電話

- Q) 関連索引で、携帯電話は(通信工学) 547.464 (電気通信事業) 694.6、多機能携帯電話・スマートフォンは(電気通信事業) 694.6 のみなのですが、携帯電話・多機能携帯電話 [スマートフォン] をあわせて、下記の理解でよろしいでしょうか？

547.464 携帯電話・多機能携帯電話 [スマートフォン] (機器の構造・製造などの工学的観点)

547.62 携帯電話・多機能携帯電話 [スマートフォン] (通信技術)

694.6 携帯電話・多機能携帯電話 [スマートフォン] (産業・サービス・個々の機種の使用法解説)

- A) その理解で問題ありません。PC の操作方法<一般>は 007.63 であり、それに対応する形で携帯電話・多機能携帯電話 [スマートフォン] の操作方法<一般>は 694.6 が基本と考えられます(本則を適用する場合)。なお、関連索引の用語については、観点ごとの用語の列挙に不足があることは認識していますが、増刷時の追加は当面見送らせていただきます。

548.21 入力装置：マウス, タッチパッド, トラックボール 548.211 文字・画像入力: キーボード, ペンタブレット, タッチパネル, グラフィカルユーザーインターフェース [GUI], キャラクターユーザーインターフェース [CUI], バーコードリーダー

- Q) 548.21 に“*ユーザーインターフェース<一般>は、ここに収める”が追加されました。また、548.211 には、グラフィカルユーザーインターフェース [GUI], キャラクターユーザーインターフェース [CUI] が関連項目として挙げられています。装置としてのユーザーインターフェース (UI) だけでなく、UI のシステム設計・デザイン・プログラミングなども 007 の下ではなくここに収めるという意味でしょうか？

なお、関連索引では、ユーザーインターフェース・UI ともになし、グラフィカルユーザーインターフェース・キャラクターユーザーインターフェースは 548.211 のみとなっています。

- A) 入力用のインタフェースは入力装置と分かちがたく、548.21 のもとに置いています。GUI もインタフェース機能を実現する要素の1つとみなし、548.211 のもとに収めることを基本と考えます。ただし、今後の検討課題とさせていただきます。

570.92 化学工業史・事情

- Q) 地理区分がありませんが、誤植ではないでしょうか？
- A) 570.92 は 5 類の固有補助表による展開であり、地理区分は可能です。訂正について考慮します。

611 農業経済・行政・経営

- Q) “*一地域の農業経済・行政・経営も、ここに収める”という注記ですが、近代の一地域の農業経済全体を扱った著作は、611.02 △に収めるという意味でしょうか？それとも 611.02 △→ 612 △でしょうか？(621・631・641・651・661 も同様)
- A) 611.021/027 に分類することを意味しています。

611.4 農産物. 農産物市場

- Q) “*個々の農産物は、各々の下に収める” “米市場→ 611.33；雑穀市場→ 611.35；麦市場→ 611.34” という注記・注参照は、「個々の農産物市場は、611.33/35 を除き各々の下に収める」という理解でよろしいでしょうか？
- A) ご指摘の注記・注参照は、「個々の農産物市場は、611.33/35 を除き各々の下に収める」ことを意味しています。
- Q) 穀物市場は、相関索引で 611.4 となっておりますが、611.46 とはならないでしょうか？
- A) 611.4 と 611.46 の「市場」は違う概念と捉えています。
- 611.4 農産物市場(ノウサンブツ シジョウ) :「一定の場所・時間に関係なく相互に競合する無数の需要・供給間に存在する交換関係をいう。抽象的市場」(「広辞苑」第 6 版) を指します。
- 611.46 農産物市場(ノウサンブツ イチバ) :「売手と買手とが特定の商品を規則的に取引する場所をいう。具体的市場」(「広辞苑」第 6 版) を指します。
- 索引語「穀物市場」は「コクモツ シジョウ」と読んで 611.4 に該当する概念を意味しています。

631.6 蚕糸業組合
641.6 畜産業組合
651.6 森林組合

- Q) 611.6・661.6 と同様に各組合が地理区分となりました。個々の組合は地理区分するのでしょうか？それとも .6 もしくは .606 でしょうか？ 366.6 の労働組合、376、377 の学校では、個々の労働組合や学校に .28 が設けられています。これらとの相違は何によるものでしょうか？

- A) 611.6、661.6ともに、個々の組合も地理区分することを意図しています。同様の例として、016.1(国立図書館)、315(政党、政党結社)等にも、団体を表す分類項目に「地理区分」の注記が付されています。ご指摘のようにNDCでは個々の団体について、①形式区分(-06等)を使用、②地理区分を使用、③個々の分類記号が設けられているもの、の三つに大別されています。これらの調整については次版以降の検討課題と考えています。
- Q) また、園芸組合のみが、621の下に位置づけられていません。これは何か理由があるのでしょうか?
- A) 分類実績が少ないため10版では新設を見合わせました。

653.9 保安林、防災林

- Q) 653.9の項目名が保安林の造林から保安林、防災林に変更になり、656.5に“保安林、防災林→653.9”と注参照されました。これは保安林、防災林の(造成)工事も653.9に収めると理解してよろしいでしょうか?保安林、防災林の造林は653.9に収め、造成は656.5に収めるという考え方もあるかと思えます。
- A) 保安林、防災林は造林、造成を問わず653.9に収めることを意図しています。

694.6 電話

- Q) “インターネット電話は、ここに収める”と注記され、548.253に“インターネット電話→694.6”とあります。これは機能も事業も694.6に収めると理解しました。一方、電子メールは相関索引でソフトウェアが007.6389 電気通信事業が694.5となっており機能と事業がわけられています。機能と事業を区別するものとししないものの線引きはどこにあるのでしょうか?
- A) 「電子メール」のようなデジタル通信分野の比較的新しい主題ではなく、「電話」のような長期的な背景を有する主題は、一定の共通認識が保たれていると判断されるため、アナログかデジタルか、事業か機能かといった区別なく、固有の分類項目に収める傾向にあります。
- Q) また、具体的にはLINEやSkypeはインターネット電話として扱って694.6に収め、Facebook MessengerはSNSとして007.353に、ショートメッセージサービス(SMS)は、電子メールとして007.6389ででしょうか?
- A) Skypeは、インターネット電話の範疇であり694.6、LINEは、ソーシャルメディアの性格が強くと007.353、Facebook Messengerは同じく007.353、ショートメッセージサービス(SMS)は、電子メール007.6389でよいと考えます。

751.1/.3 地域別の陶磁工芸

- Q) <地域別の陶磁工芸>ですが、地理区分とせずに.1/.3としているのは、何か理由があるのでしょうか?<様式別の陶磁工芸>.1/.3であれば、建築・料理・庭園の.1/.3と同様の考え方と理解できますが、地域別で.1/.3となっているのは、違和感があります。

- A) 陶磁器については、様式よりも産地で見られるケースも多く、必ずしも「様式別」が分類しやすいわけではないと考えます。このままとし、今後の検討課題とさせていただきます。

786.6 ドライブ. ツーリング. ゴーカート. モトクロス. 自動車競技

- Q) 自動車競技が追加になりました。この自動車競技は、どのようなものを想定されているのでしょうか? スピード競技が788.7で、スピード以外も競うのが786.6でしょうか? 786の下位ですので、レクリエーションの範疇にはいるもののみを786.6に収め、モトクロス世界選手権といった競技は788.7に収めるという考え方もあるかと思いますが、いかがでしょうか?
- A) 「786.5 サイクリング. 自転車競技」と「787.6 競輪」の切り分けに平仄を合わせ、788.7に収める商業的なオートレース以外の自動車競技を想定して、786.6に「自動車競技」との名辞を追加したものです。レクリエーションの範疇のものと、大学の自動車部が行う競技等がこれに該当すると考えられます。

798.5 コンピュータゲーム〈一般〉: テレビゲーム, オンラインゲーム

- Q) “コンピュータゲーム化された特定の室内娯楽は、794 / 797に収める”と注記されました。これは、コンピュータ将棋のみならず、「スーパー囲碁ゲームヒカルの碁めざせ棋聖!!」「エキサイティングビリヤード完全攻略テクニックブック」といった図書も含めて特定の室内娯楽に収めると理解してよろしいでしょうか?
- A) そのご理解で問題ないと考えられます。

799 ダンス

- Q) 799に学校“ダンス→374.98”の注参照がありますが、学校ダンスという言葉は、あまり使われないようです。相関索引では、体育ダンス781.4 (学校教育)375.49とありますので、学校ダンスを削除し、体育ダンス→375.49;781.4のみの参照でよいのではないのでしょうか?
- A) 学校ダンスという用語自体まったく使われていないということではなく学校のレクリエーションで行うダンスが、374.98に該当するケースもないとは言えませんが、ご指摘のとおり、375.49が参照先にないことについては検討課題とさせていただきます。

TRC MARC ニュース 第 31 号

2016 年 5 月 6 日発行

編集・発行 株式会社 図書館流通センターデータ部

〒 112-8632 東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号

電話 03-3943-2229 (直通)

FAX 03-3943-2231